



① 町長室で文部科学省からの電話を受ける目黒町長。登録決定の連絡を周囲の職員らに伝え、拍手で登録を祝った。



②「只見ユネスコエコパーク」誕生の瞬間を記録する為、多くのマスコミ関係者も町役場に押し寄せた。

6月12日の午前1時過ぎ、町長室に待ちに待った電話が鳴った。その電話は只見町が登録申請していた「只見ユネスコエコパーク」がユネスコMAB計画の国際調整理事会で承認され、正式に登録が決定されたという文部科学省からの連絡だった。この日、只見の自然・文化の共存が貴重であると世界的に認められた。

世界に誇れる  
自然生活文化



▲役場庁舎や各地区振興センターには、登録決定を伝える垂れ幕を設置。



◀登録決定後に記者会見を行い、これからの取り組みなどについて記者団に説明。

登録決定後の記者会見で目黒町長は、「今後ユネスコエコパークの掲げる理念を実現するため関係機関、地元産業団体、住民自治組織がその実現に向け、それぞれの取り組みを行うことを期待したい。町は、それらの取り組みに対し連絡・調整や支援を行っていききたい。特に住民の皆さまには、只見ユネスコエコパークを発展させるため、町の進める関連事業への積極的な参加と協力をお願いしたい。」と記者団に話しました。

今後の取り組みとしては、自然環境と人間社会の共生を実現するための連絡・調整、課題解決を行う只見ユネスコエコパーク推進協議会を発足し、8月3、4日に「只見ユネスコエコパーク登録記念シンポジウム」を開催します。